

クラス別一覧					
項 目 \ クラス	470級	レーザー級	レーザーラジアル級	RS-X 級	49er 級
1. 2006年度 NT 選手に関する件	1. 全日本選手権大会優勝者は世界選手権大会の出場資格を得ると同時にNT選手として認定する 2. NT 内の順位付けは NT 選考レースの結果とする 3. 全日本選手権大会のレース公示にその旨を明記する 4. NT 規定の選手の義務を再検討し、明定する	1. 全日本選手権大会上位者(5位以内)1名に世界選手権大会出場権利および次年度NT資格が与えられる。 但し上記大会での成立レース数5以上の場合に限る * ILCA からの参加枠に増減があった場合あるいは全日本枠が使われなかった場合はNT選考の順位を使用する。 2. 全日本選手権大会のレース公示にその旨を明記する 3. NT資格に関する権利、義務を再検討し、2006年4月公示 4. 詳細については別添資料提出	1. 2006年ミッドウインター選手権上位者(5位以内)1名に世界選手権大会出場権利および次年度NT資格が与えられる。 但し上記大会での成立レース数5以上の場合に限る * ILCA からの参加枠に増減があった場合あるいはミッドウインター選手権枠が使われなかった場合はNT選考の順位を使用する 2. 同大会のレース公示にその旨を明記する 3. NT資格に関する権利、義務を再検討し、2006年4月公示 4. 詳細については別添資料提出	1. ウィントサーフィン連盟全日本選手権大会、そのほか大会における優勝者の待遇 <u>NT資格に対して</u> 本年は rs-x クラス全日本が開催されないため全日本に対しての NT への待遇はなし ただし <u>アジア大会</u> に対してミストラルクラス全日本上位, 05NT →アジア大会代表選考会(アジア大会でミストラルクラスがあり、JSAF,JOC が派遣をした場合) FWクラス全日本上位, 05WFJ強化指定選手(NT 含む)→アジア大会代表選考会(アジア大会で RS-X クラスがあり、JSAF,JOC が派遣をした場合) <u>世界選手権出場権に対して</u> 世界選手権への参加枠は従来ミストラルクラスの場合は、大陸選手権などで選手個人が出場権を取得してきた。RS-X クラスの場合もミストラル同様となる可能性が高いが、9月末カディスでのミーティングで決まる模様。 <u>来年度以降の NT 資格について</u> <u>NT資格に対して</u> 1)ウィントサーフィンとしては RS-X クラスを NT 対象とする。 2)RS-X クラスによる NT 選考会により NT 資格ならびに NT 優先順位を決める 3)NT 選考会が ISAF ゲーム、プレプレオリンピック、アジア大会 RS-X 代表選考を兼ねる場合もある 全日本優勝者に対しての NT 資格授与は現在のところ考えていない	2005 年 10 月 15 日(土)ー16 日(日)に江ノ島に於いて開催予定の「'05 年度 49er 級全日本選手権大会」の優勝者及び強化選手として日本 49er 協会が推薦したチームを、'06 年度のナショナルチームとして推薦
2. 2006年度 NT 選考レース日程	1.2005年 12 月 13 日(火)ー19 日(月) 江ノ島 2. 12日計測、13 日ー19 日レース 但し、19日は予備日とし、18 日までに9レース以下の実施の場合に予備日を使用 3. アジア大会、ISAF ワールド、470級ワールドの選考を兼ねる 4. アジア大会までの期間が長い (2006年 12月開催)事を考慮し、同大会の代表はポイントシステムを使用し、世界選手権大会の成績も合わせて決定する。 ポイントは NT 選考1位1点、2位2点、3位3点・・・とし、世界選手権大会のポイントは日本選手の順番に順位を付け、その1.5倍(但しワールドフリートのみカウント)とする	1.05 年 12 月 14日(水)ー18日(日) 江ノ島 但し計測日は13日(火)14:00ーNT選考人数:4名 2. ISAF ワールドセーリングゲームス、2006 年レーザー級世界選手権代表選考を兼ねる 選考人数:ISAF2名 :世界選手権3名 * ILCA からの参加枠に増減があった場合あるいは全日本枠が使われなかった場合は NT 選考の順位を使用する * アジア大会選考は2006年レーザー級世界選手権大会で実施。 3. オリンピックテストイベント選考については検討中	1. 06年3月予定のNT選考大会にて選考大会日程ー5日間 選考人数:2名 2. ISAF ワールドセーリングゲームス、2006 年ラジアル級世界選手権代表選考を兼ねる 選考人数:ISAF2名 :世界選手権2名 * ILCA からの参加枠に増減があった場合あるいはミッドウインター選手権枠が使われなかった場合は NT 選考の順位を使用する。 * アジア大会選考は2006年ラジアル級世界選手権大会で実施。 3. オリンピックテストイベント選考については検討中	1.場所:経費の関係でレーザーラジアルと一緒にを行うことを検討 2.選考レース時期 RS-X 級(男女)2006 年3月上旬 ISAF ゲーム選考、プレプレオリンピック選考を兼ねる。 また RS-X クラスが大陸選手権がなく、ワールドへの参加枠が国に与えられた場合この選考レースの順位により決める。 * アジア大会選考は RS-X ワールドで行うことを検討 ボートの配布が遅かったためアジア大会ぎりぎりまでその選考を伸ばしたい。 ただしワールドの日程が 10 月後半以降であれば NT 選考に組み込む必要	1. 2006年度 NT 選手に関する件参照
NT数	全日本優勝者を含め男子6艇、女子4艇	全日本優勝者を含め5艇	ミッドウインター優勝者を含め3艇	男子6艇、女子4艇	2艇
3. 2006年度 スケジュール	別紙クラス別スケジュール案参照	同 左	同 左	同 左	同 左

項 目 \ クラス	470級	レーザー級	レーザーラジアル級	RS-X 級	49er 級
4. オリンピック最終考の考え方 (共通事項)	1. 最終選考については各クラス協会が原案を作成、オリンピック特別委員会がそれを取り纏め、各クラス協会会長と協議のうえ決定、2006 年 1 月 21 日 (土)JSAF 理事会の承認を得て公示 2. 参加国枠を獲得したクラスについては、オリ特より JSAF 理事会に推薦、JSAF より JOC に対してオリンピック参加を推薦する				
(個別艇種別事項)	1. 2007年国枠獲得の場合 青島の調査を踏まえ08年1月強風域のメルボルンの世界選手権大会のみで選手選考を行なうのはリスクが大きく、青島の風域に近い国内においても選考レースを実施する事とする。 2. 2008年に国枠を獲得する場合 基本的には2007年国枠獲得と同様の選考方法を取る	1. 2007年国枠獲得の場合 ・国枠獲得者に2008年 NT 資格、2008年レーザー級世界選手権出場枠を与える。 ＜オリンピック最終選考＞ 一次予選:2008年度NT選考大会(2007年11月～12月) 選考人数:2008年レーザー級世界選手権出場枠数－1名 最終選考:2008 年レーザー級世界選手権 参加人数:一次予選選考者＋2007年国枠獲得者 2. 2008年に国枠を獲得する場合 一次予選:2008年度NT選考大会(2007年11月～12月) 選考人数:2008年レーザー級世界選手権出場枠数 最終選考:2008年レーザー級世界選手権 参加人数:一次予選通過者 ＊ ILCA からの参加枠に増減があった場合は NT 選考の順位を使用する。	1. 2007年国枠獲得の場合 ・国枠獲得者に2008年 NT 資格、2008年ラジアル級世界選手権出場枠を与える。 ＜オリンピック最終選考＞ 一次予選:2008年度NT 選考大会(2007年11月～12月) 選考人数:2008年ラジアル世界選手権出場枠数－1名 最終選考:2008年ラジアル世界選手権 参加人数:一次予選選考者＋2007年国枠獲得者 2. 2008年に国枠を獲得する場合 一次予選:2008年度NT選考大会(2007年11月～12月) 選考人数:2008年ラジアル級世界選手権出場枠数 最終選考～2008年ラジアル級世界選手権 参加人数:一次予選通過者 ＊ ILCA からの参加枠に増減があった場合は NT 選考の順位を使用する。	1.2007 年国枠獲得の場合 案①2008 年ワールド’での一発選考 案②470 同様、中国(青島)の諸状況を鑑み複数の選考レースを行う。 また諸レースを対象とする。 2.2008 年国枠獲得の場合 2008 年ワールド’での日本人最上位者を代表として推薦する	2008 年世界選手権(オリンピック直前に開催される世界選手権)において日本出場選手中の最上位チームを無条件でオリンピック代表チームとして推薦する。 ＊この条件におけるオリンピック代表選手への推薦はナショナルチームでなくてもよいものとする。 推薦理由:本戦(北京オリンピック)で上位入賞の可能性のあるチームと判断する
日本で選考レースを行わないクラスの取扱い(イングリング、スター、フィン、トーンード)	＜共通事項＞ 上記共通事項1. および2. に同じ ＜個別事項＞ 1. 2007年に国枠を獲得した場合でも、獲得者を代表とはしない 2. オリンピック代表は2008年世界選手権大会における日本選手の最上位者を代表として JSAF 理事会に推薦する				